

## ソーラーフロンティア、PV Japan 2015 で エネルギーの未来に向けた取り組みをご紹介

【東京—2015年7月27日】 - ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、7月29日より3日間、東京ビッグサイトで開催される「PV Japan 2015」に出展いたします（ブース番号：P2-110）。

今回の出展では、「太陽による快適でクリーンな暮らし」をテーマに、ソーラーフロンティアが20年以上に亘って研究開発を続けてきたCIS薄膜太陽電池の特色、また更なる技術革新や蓄電システム・HEMSとのパッケージ販売などエネルギーの未来を見据えた取り組みについてご紹介します。

### ➤ 累計出荷量 3GW 達成までのあゆみ

ソーラーフロンティアは、CIS技術の事業化を決定した2005年から10年目の今年6月末に、CIS薄膜太陽電池モジュールの累計出荷量で3GWを達成しました。1978年から開始した研究開発の長い歴史や、事業化を決定してからのスピーディな生産体制の確立など、3GWの累計出荷を達成するまでのソーラーフロンティアのあゆみについてご紹介します。

また、今春に稼働開始した東北工場や、今後の取り組みについてもご覧いただけます。

### ➤ 太陽による未来の暮らしのプレゼンテーションと展示

業界に先駆けてグリッドパリティおよび蓄電池パリティの実現を目指すソーラーフロンティアの取り組みについてプレゼンテーションを行います。また、今年2月より販売開始した蓄電システム・HEMSを展示します。本システムにより、非常用電源を確保できるだけでなく、太陽光発電による余剰電力を貯めて夕方利用したり、夜間の割安な電気を貯めて昼間利用したりと、ご家庭でよりスマートに電気をお使いいただけます。

### ➤ ベンダブル・モジュール試作品の展示

今年6月にシンガポールで試験的に設置されたベンダブル・モジュールの試作品を展示します。ベンダブル・モジュールは、超軽量・薄い・曲げることもできることから、様々なモノと一体化させることが可能であり、太陽電池市場に新たな需要を生み出す大きな潜在力を秘めています。

ソーラーフロンティアは、最先端の技術と「メイド・イン・ジャパン」の品質をもって、太陽による快適でクリーンな暮らしを世界中のお客様へお届けしてまいります。エネルギーの未来を見据えて前進し続けるソーラーフロンティアの展示ブースへぜひお越しください。

ソーラーフロンティア展示ブース (イメージ)



以上

#### 【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場（公称生産能力900メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用し、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvm 認証（JIS Q 8901）」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

#### 報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792